

# 阿賀町洪水ハザードマップ

この災害ハザードマップは、大雨により町内を流れる河川がはん濫した場合、みなさんの「安全確保のための認識」や「危険回避」など自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。まず、みなさんの地域の「危険度」を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、日ごろから備えましょう。

※平成27年5月水防法の改正に伴い、対象となる河川(阿賀野川、常浪川、新谷川、姥堂川)の最大規模の降雨(1,000年に一度程度の確率)を想定した新たな洪水浸水想定区域を示しています。  
※以前にみなさんに配布した「阿賀町洪水・土砂災害避難地図(平成20年3月作成)」に比べて、浸水範囲が広く・浸水深が深く・浸水期間が長い可能性が高いので、再度確認してください。  
※その他の小川や水路などによる内水はん濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定が示されていない区域においても浸水する場合があります。

## 避難情報などの伝達経路



## 町民のみなさんがとるべき行動



## 津川地域避難所一覧

行政区	施設名	テレビ 電話番号	所在地	広域避難所 利用可否	洪水 浸水深ランク
奥田区	奥田会館	92-9931	津川1715-51	○	
	阿賀津川中学校体育館	92-2117	津川1260	○	0.5~3.0m
	阿賀黎明高校体育館	92-2650	津川1361-1	○	
	阿賀黎明高校柔道場・体育館	92-2650	津川1361-1	○	
津川1-4区	ひまわり保育園	92-2572	津川1199	○	0.5未満
	1区ふれあい会館	92-9932	津川1346-1	○	
	やまぶきの里	92-3088	津川1864	○	
	津川小学校体育館	92-2042	津川13234	○	0.5~3.0m
津川5-13区	阿賀町地域活動総合支援センターたんぽぽ	92-2249	津川13268-2	○	0.5~3.0m
	ふるさと交流センター	92-3750	津川13501-1	○	3.0~5.0m
津川6区	狐の嫁入り屋敷	92-0220	津川13501-1	○	0.5~3.0m
	上ノ山ふれあい会館	92-9933	上ノ山22	○	
平塚区	津川スポーツセンター	92-0160	平塚1309	○	
	津川高齢者ふれあい会館	92-0701	平塚2087	○	
広沢区	広沢集落開発センター	92-9930	広沢74-2	○	
	津川B&G海洋センター体育館	92-2771	津川13913-10	○	
戸沢区	文化福祉会館	92-4988	津川12136	○	
	西会館	92-8200	西2418	○	0.5未満
赤松区	赤松集落開発センター	92-4204	赤松3251-0	○	0.5~3.0m
	角島集落開発センター	92-9927	角島64-1	○	0.5~3.0m
京ノ浦区	京ノ浦集落開発センター	92-9928	京ノ浦1680	○	3.0~5.0m
	大牧集落開発センター	92-5131	大牧4172-1	○	
豊和区	豊和会館	92-9929	豊和1566	○	
	旧三郷小学校体育館	92-5123	天満4	○	
野村区	野村児童管理センター(天満会館)	92-9920	野村1234-1	○	
	花立集落開発センター	92-9926	花立27-1	○	
倉ノ平区	倉ノ平生活改善センター	92-9923	倉ノ平261	○	
	八木山地域農業開発センター	92-9924	八木山655-1	○	
田原区	旧三郷小学校田原冬季分校	92-3491	田原479	○	
	八ノ浦区	八ノ浦地域農業開発センター	92-9921	八ノ浦608	○
福取区	福取集落開発センター	92-9922	福取郷番地	○	

## わが家の防災メモ

あらかじめ記入して、家族みんなが分かるところに保管しましょう。

火災・救急 **119番** | 警察 **110番** | 災害用伝言ダイヤル **171番**

いざというときののために、家族・地域の集合場所・避難所を話し合っておきましょう。

家族の集合場所	地域の集合場所	避難所

緊急連絡先(家族や親戚、友人、職場、かかりつけの医院など)

氏名/施設名	住所	電話番号

### 防災関係機関連絡先 (0254)

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
阿賀町役場(代表)	92-3111	上下水道(阿賀町建設課)	92-5765
阿賀町消防本部	92-0119	電気(東北電力コールセンター)	0120-175-366 停電・電線断線の問合せ
津川警察署	92-0110	電話(NITTEL)	0120-444-113 故障等に際する相談
		ガス(東栄ガス)	ガス(東栄ガスの連絡先を記入)
		県立津川病院	92-3311

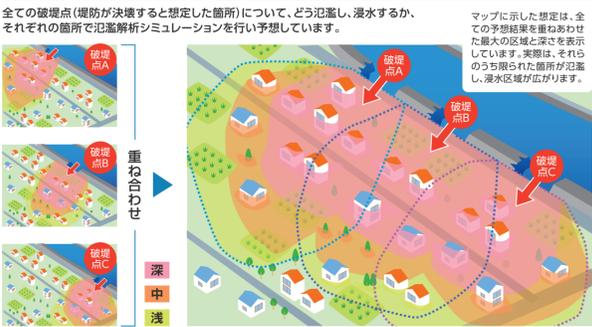
## 洪水の起こり方

台風による大雨や集中豪雨などが原因で、河川から増水・氾濫した水によって陸地が水没したり水浸しになる自然災害です。初夏の梅雨期、夏や秋の台風期などに生じやすく、大きな被害をもたらします。

### 洪水発生仕組み



### 洪水浸水想定区域の考え方



## 避難の心得

### 自主的な避難

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどからの最新の気象情報等に注意しましょう。また、危険を感じたら、自主的に避難準備をしましょう。

### 避難の呼びかけに注意を

地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、テレビ電話や広報車等で避難の呼びかけを行います。

### 靴は運動靴、動きやすい格好で

夜間や浸水した道路は、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。

### 危険な場所は避けて避難しましょう

がけ地や堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けてください。小さな橋を渡ることはなるべく避けて避難しましょう。

### 車での避難は注意

車での避難は道路が浸水する前に早めを開始しましょう。道路が浸水すると車のエンジンがとまりやすいため、できる限り歩いて避難しましょう。

### 万が一、逃げ遅れたら

避難できないと感じたら無理をせず、自宅の2階や近所の高台へ避難して救助を待ちましょう。建物の場合は、階段を使って上の階へ行きましょう。

## 水位観測所の基準水位及び情報入手

避難情報の発令の判断目安として、阿賀町に関わる河川に基準水位が定められています。(基準水位を定めている水位観測所は下図のとおり) また、水位に応じて町より避難情報が発令されます。

水位危険度レベル	基準水位(観測所名)	解説
レベル5 氾濫の発生	56.30m 45.40m 61.05m 109.95m 80.94m	堤防高
レベル4 氾濫危険水位	52.69m 59.90m 109.20m	河川が氾濫するおそれのある水位
レベル3 避難判断水位	51.85m 58.80m 108.30m	避難情報発令の目安となる水位
レベル2 氾濫注意水位	50.70m 41.13m 58.40m 107.65m	河川の氾濫の発生を注意する水位
レベル1 水防団待機水位	50.00m 39.63m 57.90m 106.95m	水防団が待機する目安となる水位

### 新潟県河川防災情報システム

河川水位・雨量・カメラ等の情報・映像を提供  
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>

### 阿賀野川ライブカメラ

現在の阿賀野川のライブ映像を提供  
<http://www.hrr.mlit.go.jp/aganolive.html>

## 想定最大規模の降雨

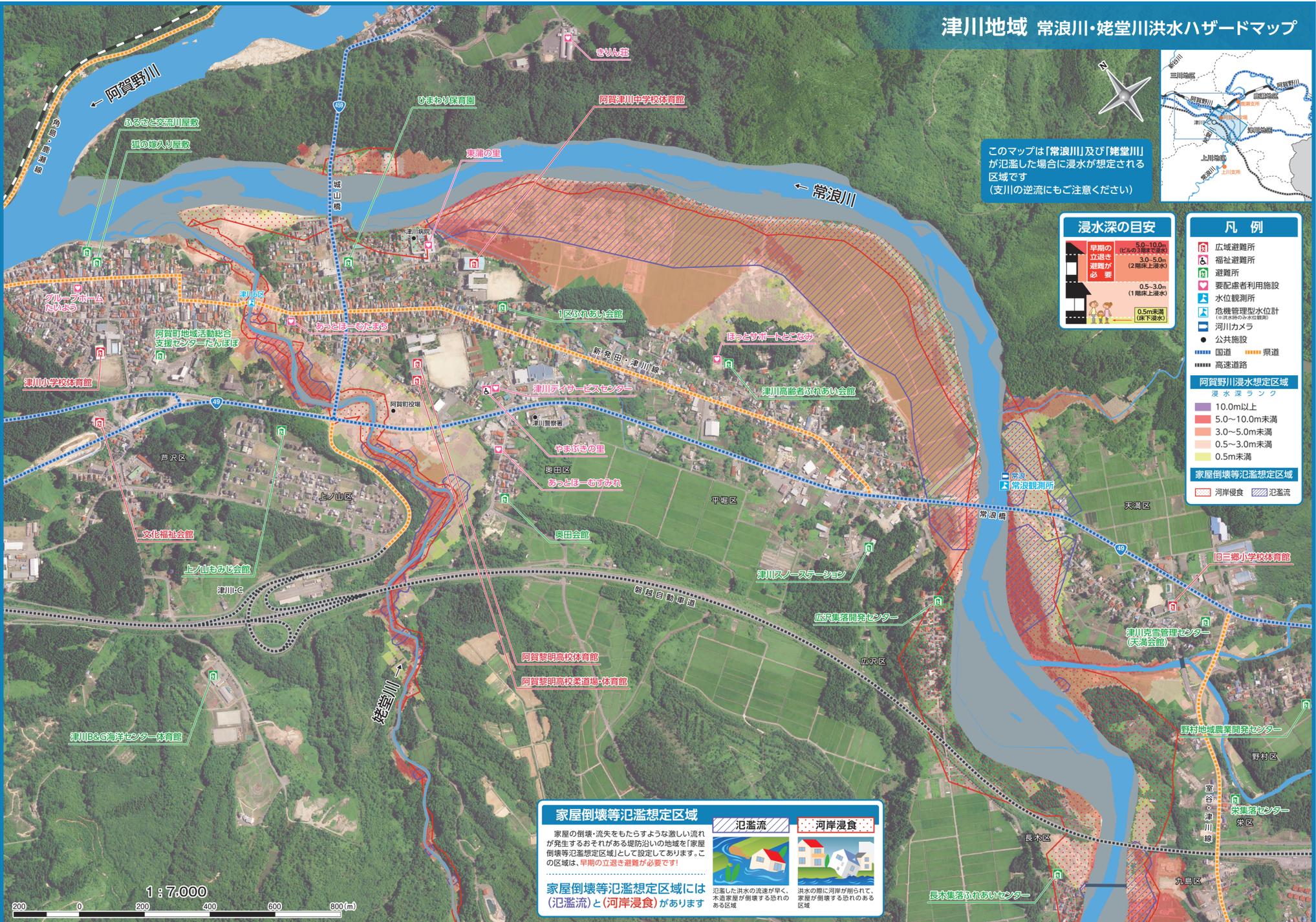
河川名	想定雨量	流域面積
阿賀野川	2日間 382mm	6,997km <sup>2</sup>
常浪川	2日間 768mm	367.8km <sup>2</sup>
新谷川	2日間 868mm	135.3km <sup>2</sup>
姥堂川	24時間 813mm	8.46km <sup>2</sup>

## その他のハザードマップ

阿賀町では、他にも「土砂災害」及び「ため池」ハザードマップを作成・配布済みです。(土砂災害ハザードマップは、阿賀町ホームページからも閲覧可能です)

土砂災害ハザードマップ (平成27~30年度作成) 土砂災害の発生のおそれのある区域を行政区域ごとに作成しました。

ため池ハザードマップ (平成30年3月作成) 重点ため池3箇所(曲枝ため池、当麻ため池、丹田の堤)に対して作成しました。



## 津川地域 常浪川・姥堂川洪水ハザードマップ

このマップは「常浪川」及び「姥堂川」が氾濫した場合に浸水が想定される区域です (支川の逆流にもご注意ください)

### 浸水深の目安

浸水深	避難要否
3.0~10.0m (7.0m以上の3階建て)	早期の立退き避難が必要
3.0~5.0m (2階床浸水)	避難が必要
0.5~3.0m (1階床浸水)	避難要否は状況による
0.5未満 (床下浸水)	避難要否は状況による

### 凡例

- 広域避難所
- 福祉避難所
- 避難所
- 要配慮者利用施設
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 河川カメラ
- 公共施設
- 国道
- 県道
- 高速道路
- 阿賀野川浸水想定区域
- 浸水深ランク
- 10.0m以上
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5未満
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
- 氾濫流

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの地域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定しております。この区域は、早期の立退き避難が必要です!

家屋倒壊等氾濫想定区域には「氾濫流」と「河岸浸食」があります